

氏名	大河内 裕美
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	乙第 1231 号
学位授与の日付	平成 25 年 4 月 26 日
学位授与の要件	学位規則第 3 条第 1 項第 4 号に該当
学位申請論文タイトル及び掲載誌	
創傷底微小循環可視化技術の開発と陰圧負荷の急性効果	
Thesis	
学位審査委員（主査）教授	土田 哲也
（副査）教授	三鍋 俊春、教授 新井 栄一、教授 棚橋 紀夫

論文内容の要旨

閉鎖陰圧療法において陰圧環境が創縁の血流を増加したことを証明する実験は過去に存在するが、創底部の血流の変化についての報告はまだない。われわれはマウス殿部の皮膚を顕微鏡下に真皮下血管網を温存して切除し、生体顕微鏡-ビデオ-コンピューターシステムを利用して創底部の微小循環を視覚化する方法を開発し、陰圧負荷による創底部の急性期の変化を観察・測定した。-125 mmHg (n=12)、-500 mmHg (n=12)、0 mmHg (n=8) の3段階の圧を負荷し、その状態を視覚化して量的な検討を行うことができた。-125 mmHg 群では陰圧負荷直後から、陰圧負荷解除後1分にかけて有意に創傷底の血流を増加させたが、-500 mmHg 群では創傷底の血流は時間とともに減少して陰圧負荷5分後に有意に減少した。この結果から、閉鎖陰圧療法では創縁だけでなく創傷底も血流が増加することが示唆された。